
記事

[Mihoko Iijima](#) · 2021年3月19日 2m read

Webゲートウェイ / CSPゲートウェイ管理のデフォルトパラメータで設定できる各タイムアウト値について

これは [InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

各タイムアウト値の意味は以下の通りです。

(1) [サーバ応答タイムアウト]

この設定時間内に、IRIS/Cachéでの処理（ルーチンやクエリの実行）が終わらない場合は、ブラウザ側にエラーを返します。

例) この値が60秒の時に、ルーチン / メソッド / クエリ実行に 90秒 かかる場合にはエラーになります。

(2) [キューイングされたリクエストのタイムアウト]

CSP/REST で設定する IRIS/Caché サーバごとに、CSP/REST を同時実行できるプロセス数を制限できます。

たとえば、サーバ接続最大数 = 3 の場合、表示に数十秒かかるページを複数同時に要求した場合、4つ目以降のリクエストは、Web/CSP ゲートウェイ上で「キュー」に入り待ち状態になります。

このキューで待つ最大時間が (2) のタイムアウトになります。

(3) [非活動タイムアウト]

CSP/REST では、IRIS/Caché サーバ上に待ち受けプロセスが複数でき、「サーバ接続最大数」まで待ち受けプロセスが出来る可能性があります。

各プロセスが、次の要求が来るまで待機する時間がこのタイムアウト値になります。

タイムアウト後、プロセスは自動的に消滅します（これらのプロセスはライセンスを消費しません）。

詳細は下記ドキュメントページをご参照ください。

[InterSystems IRISへの接続【IRIS】](#)

[Cachéへの接続](#)

[#CSP](#) [#REST API](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#HealthShare](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/web%E3%82%B2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%82%BC%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%82%A4%E7%AF%A1%E7%90%86%E3%81%AF%E3%83%87%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%AB%E3%83%88%E3%83%91%E3%83%A9%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%81%A7%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%E5%90%84%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%A0%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%83%88%E5%80%A4%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6>